



トラック種目終了 競技得点70点を獲得!

28日、自転車競技のトラック種目が終了した。最終日は、女子ケイリンで日本競輪選手会福岡県支部の児玉碧衣選手が登場。決勝進出の6人はすべて競輪選手。最終4コーナーで抜け出した児玉選手が優勝かと思われたが、ゴール寸前で福岡県選手に抜かれ、2位。悔しい表情を見せた児玉選手であったが、県自転車競技連盟の方々は、「多くの競輪選手が国体には出ないのに、児玉さんが出場してくれるだけで本当にありがたい」と感謝を表した。

少年男子ケイリンでは、上野矢竜選手(祐誠高校)が5位入賞。少年男子スプリントでは、松浦翼選手(祐誠高校)が、3・4位決定戦において1・2回戦を連勝し、見事3位入賞。成年男子スクラッチでは、第18回アジア競技大会(チーム・パーシュート)に出場した今村駿介選手(中央大)が7位入賞を果たした。

ここ数年、素晴らしい結果を出し続けている県自転車競技連盟であるが、小川監督の口からもれた言葉は、「僕たち指導者は常に勉強です」「どこかで指導者の研修会などがあれば、すぐにでも駆けつけたいんです」指導者の資質向上が自転車競技の将来を明るくすることは間違いない。



【2位入賞の児玉選手】

総合成績 9位に上昇 (28日終了時点)

28日終了時点での総合成績
(参加点10点を含む)

| | 順位 | 都道府県 | 獲得点 |
|---|----|------|-------|
| → | 1 | 東京都 | 728.5 |
| → | 2 | 長野県 | 547 |
| → | 3 | 北海道 | 508 |
| → | 4 | 神奈川県 | 496.5 |
| → | 5 | 埼玉県 | 461 |
| → | 6 | 福井県 | 421.5 |
| → | 7 | 愛知県 | 391 |
| → | 8 | 大阪府 | 384 |
| ↑ | 9 | 福岡県 | 327.5 |
| ↓ | 10 | 新潟県 | 317 |

*黄色は、昨年の結団式で示したライバル県



【3・4位決定戦の松浦選手(左)】

自転車(トラック)競技 入賞者一覧

| 種目 | 種別 | 順位 | 氏名 | 所属 |
|-------------------|------|----|-------|---------|
| 4km チーム・パーシュート | 男子 | 1位 | 今村 駿介 | 中央大学 |
| | | | 橋本 陸 | 中央大学 |
| | | | 貝原 涼太 | 日本大学 |
| | | | 児島 直樹 | 祐誠高校 |
| ポイントレース | 成年男子 | 1位 | 貝原 涼太 | 日本大学 |
| ケイリン | 女子 | 2位 | 児玉 碧衣 | 日本競輪選手会 |
| スプリント | 少年男子 | 3位 | 松浦 翼 | 祐誠高校 |
| チーム・スプリント | 女子 | 5位 | 児玉 碧衣 | 日本競輪選手会 |
| | | | 内野 艶和 | 祐誠高校 |
| ポイントレース | 少年男子 | 5位 | 児島 直樹 | 祐誠高校 |
| ケイリン | 少年男子 | 5位 | 上野 矢竜 | 祐誠高校 |
| スクラッチ | 成年男子 | 7位 | 今村 駿介 | 中央大学 |

国体の情報については、大会ホームページ (<http://fukui2018.pref.fukui.lg.jp/>) より、ご覧ください。

*Facebookにおいても情報発信を行っています。「ふくおかスポネット」で検索してご覧ください。

【発信元】福岡県立スポーツ科学情報センター スポーツ推進課 企画情報係